

氏名 (法人にあっては名称)	ミツウロコグリーンエネルギー株式会社
住所	東京都中央区日本橋2-11-2

自社等発電所(*1)の有無	有		
電気事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社等発電所における電気の供給事業 風力発電、バイオマス発電及びメガソーラー発電等の新エネルギーによる発電及び売電 ・ 小売電気事業者等から調達した電気の供給事業 ・ 供給区域 北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、四国、九州 ・ 概要 小売電気事業者への電力卸売り・小売供給事業 		
電気の供給における温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制	<p>■社内組織として以下の体勢を構築しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生可能エネルギーによる発電の開発をエネルギー事業部にて行っております。 ・ 太陽光発電所やバイオマス発電所、清掃工場等の再生可能エネルギーの調達契約を電力営業部にて行っております。 ・ 上記組織にて温室効果ガス排出係数の低減対策担当者を配置しております。 		
電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置及び目標	年度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度実績 (2019年度)	0.329 (kg-CO ₂ /kWh)	0.484 (kg-CO ₂ /kWh)
	当年度目標 (2020年度)	0.325 (kg-CO ₂ /kWh)	0.480 (kg-CO ₂ /kWh)
	短期目標 (2022年度)	0.320 (kg-CO ₂ /kWh)	0.470 (kg-CO ₂ /kWh)
	長期目標 (2030年度)	0.300 (kg-CO ₂ /kWh)	0.450 (kg-CO ₂ /kWh)
	(目標に係る措置の考え方)		
	バイオマス発電所及びごみ処理場、太陽光発電による再生可能エネルギーの利用を推進しております。今後も再生可能エネルギー発電所との契約を進め環境負荷の低い電力調達に努めます。		

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
 *2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(実二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量(電気供給量)で除したものをいう。
 *3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度実績 (2019年度)	347 (千kWh)	100.00 (%)
	当年度目標 (2020年度)	364 (千kWh)	100.00 (%)
	短期目標 (2022年度)	382 (千kWh)	100.00 (%)
	長期目標 (2030年度)	399 (千kWh)	100.00 (%)
	(目標に係る措置の内容)		
自社風力発電所の電力の活用を検討するとともに、太陽光発電や水力発電、バイオマス発電等の再生可能エネルギーを優先的に調達し活用するよう努めます。			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度実績 (2019年度)	4,566 (千kWh)	42.00 (%)
	当年度目標 (2020年度)	4,794 (千kWh)	44.00 (%)
	短期目標 (2022年度)	5,023 (千kWh)	46.00 (%)
	長期目標 (2030年度)	5,251 (千kWh)	48.00 (%)
	(目標に係る措置の内容)		
他社からの電力調達の際、太陽光やバイオマス発電等の再生可能エネルギーを積極的に調達するよう努めております。			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	清掃工場の入札に積極的に参加します。		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標	自社での火力発電所を保有しておりません。		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組	お客様がリアルタイムで電力使用量を把握できるシステムを提供し、省エネ意識向上に努めます。		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化により残業の削減に取り組み、照明及び空調使用時間の短縮を図っております。 ・営業車にハイブリッド車両を導入しております。 		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。

*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分を除いたものをいう。

*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分を除いたものをいう。

*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。